



明治初期の帯笑園

その後時代の変化とともに敷地は半分ほどに縮小し、貴重な植物も多くは失われてしまいました。現在は帯笑園保存会(沼津の貴重な史跡である帯笑園を保存することを目的として、平



13代目ご当主 植松靖博さん

私たちの住んでいる、この沼津市原に、江戸時代から昭和初期にかけて「東海道随一の名園」と言われた帯笑園があります。帯笑園は、沼津市原の素封家植松家が代々伝えた庭園で、東海道を往来する大名、公家、文人など多くの人が見物に訪れていました。その中の一人、シーボルトは「今迄日本にて見たるものの中に、最も美しくまた鑑賞植物に最も豊かなるものなり」と称賛しています。その場に展示されていたものは、松や蘇鉄の盆栽、桜草、松葉蘭や石斛などの当時流行した珍しい品種、花卉類の鉢植え、植松家で収集された京都円山派などの書画がありました。

帯笑園



「帯笑園」と聞いて、どこかわかるでしょうか？ 身近にある文化財について調べてみました。

成十五年に設立)を中心に、当時の書状の類、「草花名録」をはじめとする園芸資料を後世に伝えるべく、維持保存につとめ、見学会などで多くの方々に伝えられています。また、平成二十四年九月には、登録記念物として国の文化財に登録されました。

門柱の対聯(律詩の対向)

ついでに

訪入芝園者 園茶種一花一葉

かりそめにもいやしくとも園に入る者は一花一草にも触れることを禁ず

全ての詩歌有るもの必ず一吟一詠を留める事

(口語訳)

叟花園記碑

そうかえんきひ

南東の隅に大きな石碑があり、かつての帯笑園の規模と内部の様子、草木の品名、帯笑園の撰文が刻まれています。



裏面には岸駒が描いた「虎」の絵が彫られています。碑の裏面に絵がある事が大変珍しいことだそうです。

見学会

月一回、年内の予定は十月二十三日、十一月二十七日です。

毎年四月には桜草鑑賞会があり、

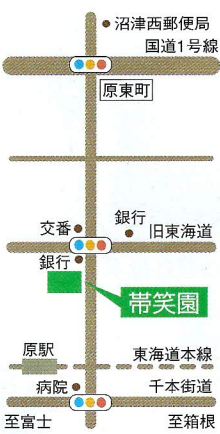
琴の演奏会もあります。他にもイベントが開催されますので、原地区センターへお問い合わせの上、足を運んでみてはいかがでしょうか。



桜草



うちはる蘭



～あとがき～

行くたびに新しい発見があり、とても勉強になりました。取材にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。(1年部)

編集室

不安なスタートを切った編集作業でしたが、広報部員みなさんのおかげで無事に発行することができました。アンケート、取材にご協力いただいたみなさんありがとうございました。次号もお楽しみに!?(部長)